

工学デザイン基礎 III(Basic Technical Design III)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当		
土木建築	必修	3年	2	演習	西尾幸一郎 古田健一 熊野稔 目山直樹 中川明子		
【授業の概要】 これまで学んだ専門知識をベースにして、建築物の設計作業を経験する。前期では、意図を図面に表現し、自ら説明する能力を養うことに重点を置く。建築物の設計を通して、自分のアイデアを形にする、その形を他者に理解できるように表現するために作業と検討の繰り返しを行う。 後期はRC造の							
【授業の進め方】 以下の設計課題の内容について講義を行い、それぞれについて設計演習を行う。							
【授業の概要】							
前期 前期は、2～3名の班ごとにデザインコンペの課題に取り組む。 第1～3週 エスキスの検討、発表会 第4～7週 配置図、各階平面図、立面図4面、断面2面の作成（方眼紙等に作図） 第8週 中間発表会 第9～11週 図面作成（ケント紙等に清書） 第12～14週 模型の作製 第15週 最終発表会 後期 鉄筋コンクリート壁式構造の建築物の設計を行う。 設計条件は、壁厚、床厚ともに200mmの鉄筋コンクリート壁式構造を用いること以外は自由である。すなわち、各自で想定する住宅を設計テーマに設定し、エスキスした上で製図する。 要求図面は、各階平面図、断面図2面、立面図4面（以上全て縮尺1/100）をA2トレーシングペーパーにレイアウトしたものを1枚、透視図（アイソメトリック）を作図したA2トレーシングペーパー1枚の合計2枚である。 平面図完成時、断面図完成時、立面図完成時および透視図完成時の合計4回の締め切りを設定する。							
【到達目標】		すべての図面を期日までに完成させること。さらに、提出図面は製図表現方法を理解し作図されたものであり、設計内容が正確に伝達できるものになっていることを到達目標とする。					
【徳山高専学習・教育目標】		A1		【JABEE基準1(1)】			
【評価法】		設計製図の評価は各課題の提出図面および課題内容の理解度により定める。いずれも指定された締切日を厳守すること。期限を過ぎたものは受け付けない。					
【テキスト】		単元ごとに必要な資料を配付する。					
【関連科目】		工学デザイン基礎I、II（本科1、2年）					
【成績欄】		前期中間試験	前期末試験	前期成績	後期中間試験	後期末試験	学年末成績
		【 】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】